

【自治体編：事例(6)】

尾張東部衛生組合 晴丘センター

・瀬戸市、尾張旭市、長久手町(人口:約26万人)のごみ処理を実施



★小型家電等の分別・回収メリットは？

- ①飛灰中の金属(鉛など)の含有量低減対策
- ②廃棄物の再資源化(リサイクル率の向上)
- ③埋立処分場の延命化

★小型家電等回収のきっかけは？

- ① 中部経済産業局からの提案を受け、平成22年に3カ月間の試行を実施。
- ② 本格実施に向けて、時期・方法等を検討中

★資源化しようとしているゴミの回収対象範囲は？

・コンセント若しくは電池で動く電化製品全般(家電リサイクル法の対象品目を除く)



★その回収量は？

・平成22年12月から23年2月までの3カ月の試行期間で約6トン。

★小型家電等はどのように選別しているの？

・晴丘センターに集められた不燃ごみの中からピックアップを実施。

★小型家電等の売却価格は？

・試行は1円/kgで行ったが、本格実施にあたっては入札を想定。

■提携事業者

○シービーセンター株式会社

■問い合わせ先

尾張東部衛生組合晴丘センター

電話:0561-54-1643